

■USEN:WEBサイトに『音空間デザインラボ』を紹介

株式会社USENのコンテンツプロデュース統括部は、日頃は音・音楽の効果について研究をしているが、この度その成果をまとめたサイトを公開した。

USEN発信の情報のため、主に店舗やオフィス、音楽と健康に関する内容が主体となっているものの、「BGMが人の第一印象に与える影響に関する実験」、「BGMのテンポがお店での購買行動に及ぼす影響」などは、通販番組や商品紹介のVPなどでも応用が可能な内容となっている。

<https://usen.com/portal/otodesign/>



■テレビ東京の人気番組「出没！アド街ック天国」にて池上通信機が5位で登場

テレビ東京の「出没！アド街ック天国」は、毎回ある1つの「街」をとりあげ、さまざまな角度から街を検証し、ランキング形式で街を紹介する“地域密着系都市型エンターテインメント番組”である。

このテレビ東京を代表する老舗人気情報バラエティ番組にて、2021年6月19日に放送された「池上本門寺」周辺の特集において、池上通信機が5位で登場した。¹⁾

番組では、昨年発表したリモートプロダクションシステム「R2 SYSTEM」²⁾を使用して、地元で長年愛されてきた「くず餅」をリモート撮影するなど、古き良き伝統と最新のテクノロジーとのコラボレーションを紹介され、池上通信機に興味を持った視聴者の方も多かった様子である。

池上通信機は、これからも技術で社会に貢献する企業として、時代を先取りした新たな製品開発やサービスの向上に努めていくとのこと。

*1. 番組のランキング情報はこちらをご参照ください。

<https://www.tv-tokyo.co.jp/adomachi/backnumber/20210619/>



*2. 「R2 SYSTEM」の詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.ikegami.co.jp/archives/menu3/r2>



※以下の写真は、同社取材時のものです。この様子はメイキング映像として、当社YouTubeチャンネル「イケイケちゃんねる_池上通信機」でも特番として投稿する予定となっている。



■池上通信機 :UHK-430 4K カメラシステム6 式をベトナム初となる4K 中継車搭載用に納入

池上通信機株式会社は、ベトナムの国営放送局であるベトナムテレビ（以下、VTV）へUHK-430 4K カメラシステムを6 式を納入した。VTV のネットワークの拠点であるハノイのテクニカルセンターで、ベトナム初となる4K 中継車* に搭載されたもの。

東南アジアで第3位の人口であるベトナムは、テレビ保有率が90%を超えており、ケーブルテレビの普及率も高いことから、放送市場としてもアジアの中で注目されている国になっている。VTV には、SDTV



の時代から池上製品を導入しており、続くHDTV でも多くのスタジオや中継車で運用されている。ベトナムは2020年にアナログ放送からデジタル放送へ移行した。さらに次世代の4K化へ取り組み始めるタイミングでUHK-430は採用され、4K中継車に搭載することにより、スタジオ収録はもとよりコンサートホールやスタジアムでの収録など、幅広い現場への対応を可能としている。文化・芸術番組の収録や会議、ライブ、ゲームショーなどの、さまざまなイベントにおける本格的な4K映像制作で活用されることに期待されている。

「UHK-430カメラシステムは、4Kネイティブセンサを搭載しており、非常に高い品質でのコンテンツ撮影が可能なのです」と、VTV技術番組制作センターのディレクターであるNguyen Van Chung氏は語っている。

4Kカメラの性能はもちろんのこと、運用面においても調整が難しい4K解像度に対応するフォーカスアシスト機能や、OCPからレンズをコントロールするレンズ・リモート機能など従来のHDカメラシステムから継承してきた機能が使いやすさを増している。

さらに汎用性が高く軽量なEthernetケーブルでOCPとCCUを接続することにより取り扱いが容易になること、詳細なアラーム通



知機能によりメンテナンス対応がしやすくなることなど、ユーザの運用を考慮したさまざまな工夫が分かりやすくスマートであると評価された。また、IPインターフェースが備

わっているので将来のIP対応が必要になった際にも対応可能であることも採用ポイントとなった。

そして、何よりも今まで導入した機器の故障が少ない点には高い信頼を得ており「私たちは過去の経験から、池上製品の品質、耐久性、性能に信頼を置いています。これが、4K制作という画期的なプロジェクトに池上製の4Kカメラシステムを選んだ理由の一つです。これまでいくつものプロジェクトで池上製品を使用してきましたが、その映像と品質には感銘を受けています」と高い評価のコメントを得ている。

池上通信機は、販売代理店である日本のイーグローバレッジ株式会社を經由して、ベトナム市場に放送機器を販売している。「VTVとは四半世紀に渡って良好な関係を築いてきました」と同社ES本部第二部長の山本堅太郎氏は振り返る。「ベトナムのテレビ放送はSDTVからHDTVへと進化しており、今回のVTVの4K採用がベトナムでの4K放送の普及をより促すきっかけになることを期待している。VTVがこの新たなプロジェクトのパートナーとして我々を選んでいただいたことに誇りと名誉を感じています」と話している。

■池上通信機 :TBS テレビよりSNG 中継車を受注

池上通信機(株)は2020年12月、(株)TBSテレビ（以下TBSテレビ）よりHD SNG中継車「TBS51」を受注した。2021年11月に納入し、運用が開始される予定となっている。

「TBS51」は、TBSテレビが「JNN次世代SNGシステム」の一環として、2008年に製作されたHD SNG中継車の更新となったためである。この度の更新において池上通信機を採用した理由を次のように考えているとのこと。

- (1) 「TBS51」と同等サイズのHD SNG中継車の製作実績を数多く積み重ね、経験豊富であること。
- (2) これまでの中継車製作において、提案から仕様決定まで一貫して当社の車両設計・システムエンジニアが、ユーザーの要望に添った設計を行い、正確なスケジュール管理のもとで納車を実現してきたこと。
- (3) 映像制作・素材伝送機器と車両が一体となった「中継車システム」としての豊富な納入実績と、緊急時も含めた安定した運用を支える充実したメンテナンス対応を行ってきたこと。

池上通信機は、JNN系列各局に2008年～2009年に多数の

SNG中継車を納入しており、今後は、その更新も控えていることから、今回の「TBS51」とほぼ同仕様のHD SNG中継車の継続受注が期待される。

【「TBS51」中継車の主な仕様】

■車両仕様

- ・車両：全長 5,555mm、全幅 2,170mm、全高 3,080mm、4WD
- ・搭載カメラ数：常載2式(最大4式)
- ・発電機：20KVA(60Hz、100V)横置き
- ・空調装置：天井内気循環型 8000Kcal
- ・油圧ポール：12m級

■システム仕様

- ・スイッチャー：CSS-400(18入力×9出力、2M/E)
- ・ルーター：MuPS-4000(36入力×27出力、MV18画面処理、4系統排他出力)
- ・ペリフェラル：OnePack II
- ・モニター：HLM-1760WR×2式、HLM-960WR×2式
- ・VEモニター：HLM-1760WR×1式